

初めて与党の議員として臨む春の国会

高階 恵美子 参議院議員



平成24年度第3回都道府県看護連盟会長会にて国政報告(1月24日)



宮城県知事からの東北地方の医学部新設に関する要望を党参議院議員会長・幹事長とともに伺う(2月21日)

桜花にぎわう季節を迎え、会員の皆様にはますますご清祥のことと存じます。

たかがい恵美子にとっては、議員生活3年目にして初めて与党会派の一員として常会に臨む春ですから、毎日がいっそう清々しく新鮮です。党所属議員は皆、年末年始を返上してロケットのごとく始動した安倍新政権の運営が円滑に進むよう、一致結束して精力的に活動しております。

1票差で成立した補正予算案！

この間の国会で最も印象的だったのは、2月26日の補正予算案採決でした。参議院自民党の議員数は現在83名で、

与党でありながら定数242席の1/3程度です。年末の総選挙で議員数が294名に増え、定数480席の6割以上を占めている衆議院とは情勢がまったく異なっています。したがって与党自民党は政府と歩調を合わせながらいつも以上に丁寧な国会運営に心がけているところですよ。

国家予算については厳しく審議をした上で、国民生活に支障が生じることのないよう確実に通さなければなりません。このことは誰にでも理解できることだと思いますが、国会内では実際に、それを通すわけにはいかない！と主張する勢力と対峙しながら合意形成をはからなければなりません。時間切

れまで手を尽くしてもなお多くの議員が否決も覚悟していた議場内に議長の結果読み上げが響き、1票差で可決・成立となった折には、これまでにない大歓声があがりました。私はとはいえ、投票箱が開かれた瞬間すぐに議席で方ツポーズをして、喜びをアピールしました。

参議院選挙の勝利に向けてがんばりましょう！

その勢いをかっていただいたのでしようか。3月17日の党大会では参議院選挙必勝決起集会の必勝コールを担当させていただきました。国政健全化の節目となる参院選には、いすれ劣らぬ粒ぞろいの精鋭たちが党公認で立候補する予定です。仕事にはやりがい、暮らしには生きがいをもっと！とするたかがい、が全国の党員の皆様の前で、これが看護のイシダ！と強く念じつつ「選挙は、おたがい、の呼吸を合わせて勝ち取るもの、日本をよくする自民党候補者全員が当選するよう一致結束してがんばろう！」と。

被災地の医療・介護体制について提言いたしました

参議院の所属委員会については、新たに国家基本政策委員会幹事、東日本大震災復興特別委員会筆頭理事を拝命しました。党首討論の企画・運営や東

日本の復興加速化を牽引するための審議の組み立てにあたることとなりますので、ますます気を引き締めてまいります。

復興加速化という点では、3月6日に公表された党の「復興加速化のための緊急提言」のなかに、とくに被災地の医療・介護体制を長期的に補強・整備していく方策についての具体的な書き込みをしていただきました。

東日本大震災によって破壊された広範な地域は、もとより医療施設が少なく、地域内に定着して業務にあたる医療人材の配置が薄い状況でした。懐かしい我が家を奪われた人々の避難生活

は2年を超え、いまなお故郷での生活再建の見通しを立てることも難しい状況が続いています。提言のとりまとめにあたっては、元の状態に戻すことに主眼を置いた、いわゆる復興のための政策だけでは不十分なのであって、被災地域での暮らしの将来像を描いて、いまから国家規模で取り組むべき加速化策を打ち出そうと、熱い議論が交わされました。

例えば「心の健康面についての人的支援とよりきめ細かい対応の推進」「医療機能の集約・連携、在宅医療の推進等の方向性を踏まえ、新たな医療提供のモデルとなるような形での復興を目

指す」「地域包括ケアを中心とした医療・介護等の基盤整備や連携を推進する」「各医療機関等から具体的なニーズを継続的かつ積極的に吸い上げ、個別具体的な対応を強力に推進するなど、新たな対応を含め具体的な成果が得られる取り組みを行う」「医師、看護師の確保に加え、介護職員、保育士等についても確保を図る」などが明示されました。これからの国会審議では、これらの提言を実際の政策へと反映させていくこととなります。

看護連盟の皆様をはじめ、より多くの皆様とお会いする機会が増えそうです

全国各地への訪問や国会見学・インターンシップ・大学院特別講義の受け入れなども、積極的に続けております。今年には党本部のふるさと対話集会の幹事に命じられましたので、これまで行くことの難しかった地域にも党務として、出かける機会が増えそうです。

また、日赤看護大学大学院、東京医科歯科大学大学院の皆様とは、これからの看護界がクリアしなければならぬ課題を取り上げ、どのようにして政策に反映していけばよいかといった具体的な対応策について議論する等の試みを行っています。お互いの切磋琢磨によって、年を追う毎に精緻な分析ができるようになり、政策提言としての



大阪府看護連盟国会見学と併せて裁判官弾劾裁判所見学(3月8日)

精度が少しずつ高まっていることを実感しています。さらに、国会見学については、皆様の日程や希望によって参議院自民党幹事長室や弾劾裁判所内を特別に見せていただけるようになりました。

このように、少しずつではありますが、国会内での議員活動についても報告できる内容の幅が広がっております。3年目のたかがいは、これからも皆様の温かいご指導のもと、地道に努力を続けてまいります。引き続き、よろしくご願ひ申し上げます。



日本赤十字看護大学大学院生と看護政策について意見交換(1月8日)



東京医科歯科大学大学院生と看護政策について意見交換(2月19日)